

授業科目名 (英訳)	産業組織の経済分析 Economic Analysis of Industrial Organizaion					担当者所属 職名・氏名	経済学研究科 教授・依田 高典				
配当学年	2・3 回生	単位数	2	開講年度 開 講 期	H27 前期	曜時限	水/3	授業形態	演習	使用言語	日本語
〔授業の概要・目的〕											
<p>テーマ 行動経済学・フィールド社会実験から見た産業経済学への応用</p> <p>この講義では、近年の応用経済学の発展を踏まえて、競争政策について検討していきます。特に、フィールド社会実験に焦点を当て、競争政策への応用について議論をしていきます。また、自分の興味に応じて、教科書の輪読・個別研究のプレゼンテーションを参加者にお願ひします。フィールド社会実験とは、実際の生活の中で、コントロールグループとトリートメントグループにランダムに分けて、関心のある実験を行い、その社会経済効果を測定します。高度な予備知識は必要ありませんが、自分の行動経済学の知識のレベルに応じて、任意の行動経済学の入門書・専門書(邦訳可)を事前に読んでおくことを履修要件とします。</p>											
〔到達目標〕											
<p>経済学のフィールド社会実験手法を用いて、経済効果を測定し、学術研究・政策立案・ビジネス企画などに役立てる。</p>											
〔授業計画と内容〕											
<p>第 1 回から第 5 回 フィールド社会実験に関する教科書の輪読（基本）。</p> <p>第 6 回から第 10 回 フィールド社会実験に関する教科書の輪読（発展）。</p> <p>第 11 回から第 15 回 自分が読んだ行動経済学の入門書・専門書をもとにして、自分の興味に応じてどういった調査研究をしたいのか研究計画のプレゼンテーション。</p>											
<p>参考までに、講師の行動経済学に関する学術論文は書下記の HP で記載されています。</p> <p>http://www.econ.kyoto-u.ac.jp/~ida/3Kenkyuu/3Workingpaper/workingpaper.html(履修要件)</p> <p>ミクロ経済学に関する基礎知識を有すること。</p>											
〔履修要件〕											
<p>ミクロ経済学に関する基礎知識を有すること。</p>											
〔成績評価の方法・観点及び達成度〕											
<p>講義中のプレゼンテーション、必要に応じてレポートの提出、自分で研究計画を立てる。</p>											
〔教科書〕											
<p>授業中に指示する。</p>											
〔参考書等〕											
<p>依田高典『行動経済学：感情に揺れる経済心理』(中公新書)</p> <p>Alan S. Gerber, Don (2012) Field Experiments: Design, Analysis, and Interpretation, W WNorton & Co Inc.</p> <p>Thad Dunning (2012) Natural Experiments in the Social Sciences: A Design-Based Approach, Cambridge University Press</p>											
〔授業外学習（予習・復習）等〕											
<p>割り当てられた教科書・研究計画の発表の準備。</p>											
〔その他（オフィスアワー等）〕											
<p>※オフィスアワー実施の有無は、KULASIS で確認してください。</p> <p>オフィスアワー 予約に応じて随時（内線 3477 オフィス新棟 614 号室）</p>											